

# CO・OP

京都の生協

2023/January/No. 107  
京都府生活協同組合連合会



国内唯一の「放ち鶉飼」がはじまった宇治  
—女性鶉匠のチャレンジ! 可能にしたのは、人と鶉との信頼関係—

TalkTalk トークとーく

●宇治市観光協会 (鶉匠) 沢木 万理子さん  
●京都府生活協同組合連合会 会長理事 西島 秀向



# TalkTalk

トークとーく

# 対談

## 国内唯一の「放ち鶺鴒」がはじまった宇治

### 女性鶺鴒匠のチャレンジ！ 可能にしたのは、人と鶺鴒との信頼関係

宇治市観光協会（鶺鴒匠）  
京都府生活協同組合連合会 会長理事  
沢木 万理子さん  
西島 秀向

夏の夜の風物詩、宇治川の鶺鴒。その伝統は古く平安時代にまで遡ります。さらに2022年、今では国内唯一となる新たな観光、「放ち鶺鴒」がはじまり話題を呼んでいます。前例のなかった鶺鴒の鶺鴒「ウミウ」の人工ふ化を成功させ、「放ち鶺鴒」を実現させた女性鶺鴒匠、沢木万理子さんにお話をお聞きしました。

### 宇治の鶺鴒の歴史 平安時代からあった鶺鴒

**西島** 最初に宇治の文化、観光、そして鶺鴒の歴史などについて教えていただけますか。  
**沢木** 宇治は京都の南部にあり、平等院、宇治川を挟んで対岸に宇治上神社や源氏物語ミュージアムなどがあります。京阪電車宇治駅、JR宇治駅から、徒歩10分〜15分で二つの世界遺産が歩いて回れる非常に便利な観光地です。そしてその中心にある川でおこなわれているのが宇治川の鶺鴒

です。現在、鶺鴒は全国で11か所開催されています。中でも、ここ、宇治川の鶺鴒は、観光地でありアクセスも非常にいい場所だと思います。宇治はその昔、平安貴族たちの別荘があり、訪れた貴族たちが夜、鶺鴒を見た、という記述が、藤原道綱母の『蜻蛉日記』にも残されています。  
**西島** 1,000年以上昔の平安時代から、宇治では鶺鴒がされていたのですね。

**沢木** そうなのです。ただ平安後期から鎌倉時代にかけて、仏教の殺生禁断の教えが広まると、鶺鴒は廃れていきます。現在の宇治川の鶺鴒は、大正時代の終わり頃から観光鶺鴒としてはじまったものです。その当時は、かつてこの地で鶺鴒をやっていた記録はあるものの、ノウハウが伝わっていませんでしたので、岐阜県長良川上流の小瀬の鶺鴒匠を招いて指導を受けたそうです。  
**西島** 宇治川の鶺鴒は、伝統的な装束、スタイルでおこなわれているものですね。  
**沢木** 長良川や小瀬鶺鴒と同

#### C/O/N/T/E/N/T/S

##### トークとーく対談

国内唯一の「放ち鶺鴒」がはじまった宇治  
—女性鶺鴒匠のチャレンジ！可能にしたのは、人と鶺鴒との信頼関係— ……2

##### 防災の取組

京都府総合防災訓練 ……7  
MCA無線（防災無線）訓練を実施 ……7  
コープ御所南ビルで防災訓練 ……7  
令和4年度関西広域応援訓練実動訓練（ワークショップ） ……7

##### くらしの安全／平和の取組

2022年度京都消費者問題セミナー「その誘い だいじょうぶ？～18歳、19歳が狙われる！1人で悩まず相談しよう～」開催 ……8  
京都の生協 理事長懇談会 ……8  
京都の生協活動功労者表彰式 3年ぶりに実開催 ……8  
日本政府に核兵器禁止条約への署名・批准を求める署名街頭宣伝 ……8  
憲法学習会「檻の中のライオン～憲法ってなんだろう？～」 ……8

##### TOPICS

2022年度理事・監事研修会 ……9  
第33回近畿地区生協・行政合同会議 ……9

2022産直フォーラム in 鳥取 ……9  
京都府食の安心・安全意見交換会 ……9  
「DV被害者支援の現状と課題」シンポジウム 後援 ……9  
「京都府南部地域豪雨災害からの10年～その当時を振り返って～」シンポジウム後援 ……9  
京都府生協連 第42回・第43回  
「京都の生協活動を豊かに発展させる協議会」 ……10  
京都府の災害用備蓄食品の有効活用の取組み ……11  
第21回京都府協同組合役員体験・交流学校 ……12  
おもな行事のお知らせ ……12  
年賀状 ……12



宇治市観光協会（鵜匠）  
沢木万理子さん

じく、夜、かがり火を灯した  
鵜舟で、鵜匠は風折烏帽子に  
腰蓑、という装束を身に着け

て鵜飼をします。この装束は、  
実は昔の漁師さんたちの服装  
だったようです。絵本の浦島

太郎も同じ格好をしています  
ね。腰蓑は水よけの雨合羽の  
役割をします。

初めての女性が飛び込むとき  
には、いろいろと苦労がおお  
りだったと思います。

## 鵜匠になろうと思ったきっかけ 男性現場のなかで

思っていたので、チャレンジ  
してみようと思いました。  
西島 子どもの頃からの夢が  
実現したのでですね。

西島 沢木さんは京都では初  
の女性鵜匠ということですが、  
鵜匠になろうと思われたのは  
どのようなきっかけからです  
か？

沢木 子どもの頃から鳥が好  
きで、文鳥やセキセイインコ  
などは飼っていました。学生  
のときに嵐山の鵜飼を見て、  
鵜をあやつる鵜匠が格好よく  
て、やってみたいと憧れるよ  
うになりました。

沢木 運がよかったですね。  
でも小さな鳥は自宅で飼って  
ましたが、鵜のように大きな  
鳥って大丈夫かな？と思って  
いたので、実際に接して  
みると、たちまち鵜の虜にな  
りました。

西島 やりたいという情熱が  
強かったのですね。  
沢木 もう、すんなり、男性  
の間に混じっていましたね（笑）。

## 鵜匠としてのやりがい 毎日、鵜と接しているからわかるよ

西島 かがり火で、暗闇に浮  
かび上がる鵜匠の姿はとても  
幻想的ですね。それで鵜  
飼をされている鵜匠に直接、  
弟子入りしてこの世界に入ら  
れたのですか？

西島 鵜匠としてのやりがい  
を感じておられるのはどうい  
うところですか？

西島 ために、シーズンの餌の量は  
腹八分目に抑えています。す  
るとやっぱり体重は減るし、  
疲れてもいます。そこで秋か  
ら冬にかけてはたくさん餌を  
与えて、身体を戻してあげる。  
そうして冬を過ごした鵜たち  
が、次の年の夏にまた元気で  
がんばってくれて、鵜飼を観  
に来て下さったお客様から拍  
手や歓声が起こると、1年間、  
育ててよかったです、と思います。

鳥が好きなことから、鵜飼  
を始めましたが、今は、伝統  
や文化を残していくことの大  
切さを感じています。



京都府生活協同組合連合会 会長理事  
西島秀向

沢木 はい。宇治で鵜飼の船  
を運行をしている宇治川観光  
通船に、いきなり「鵜飼をや  
りたいのですが」と連絡した  
のです。当時の会社代表が鵜  
匠で、「じゃあ、一回来てみ  
る？」と、すんなりと受け入

沢木 365日、毎日交代で  
世話をしますが、世話そ  
のものがやりのひとつで  
すね。毎日接しているからこ  
そわかることがあるというか。  
9月に鵜飼のシーズンが終  
わったとき、鵜たちは痩せて  
しまいます。夏の間、川の中  
でしっかりと魚を獲ってもら

たために、シーズンの餌の量は  
腹八分目に抑えています。す  
るとやっぱり体重は減るし、  
疲れてもいます。そこで秋か  
ら冬にかけてはたくさん餌を  
与えて、身体を戻してあげる。  
そうして冬を過ごした鵜たち  
が、次の年の夏にまた元気で  
がんばってくれて、鵜飼を観  
に来て下さったお客様から拍  
手や歓声が起こると、1年間、  
育ててよかったです、と思います。



## 一組のつがいから卵が生まれた！ 国内初のウミウの人工ふ化が成功

**西島** さて、国内唯一となる「放ち鵜飼」が、この秋からはじまったようですが、通常の鵜飼との違いや、なぜ「放ち鵜飼」をすることになったのかについて、お聞かせください。

**沢木** 「鵜飼」は、鵜を「追いの紐で鵜をつなぎ、鵜匠がそれをあやつるものですが、「放ち鵜飼」はその綱がなく、鵜を自由に泳がせ、魚を獲ったら鵜匠の元に戻ってくるという鵜飼です。島根県益田市の高津川で20年ぐらい前までおこなわれていましたが、最後の鵜匠が亡くなられて以降、国内では途絶えていたものです。

「放ち鵜飼」復活のきっかけは、2014年に一組の鵜のつがいから卵が産まれたことでした。鵜飼の鵜はウミウという種類で、茨城県日立市で野生のウミウを捕獲する方に鵜を捕獲してもらい、各地の鵜匠が慣らして鵜飼に使っ

ています。とても神経質な鳥で、人が飼育する環境下では卵を産まない、と言われていました。ところがある日、鵜小屋に掃除に入ったら、1つの卵が産み落とされていました。すでに落ちて割れていた

ので、あわてて小屋に巣になる材料を入れて整えてあげたら、そのあと何個か卵を産んでくれました。ふ卵器を購入し、人工ふ化を試みたら、ヒナが孵かえったのです。野生のウミウの人工ふ化は、国内初のことでした。

**西島** すごくいですね。たぶん心のこもったお世話がよかつたのでしょうか。

**沢木** なにしる前例がないので、京都市動物園や兵庫県立コウノトリの郷公園、地元のかかりつけ獣医師など、いろいろな方にアドバイスをいただきました。飼育環境はどうするのか、ヒナの餌は何がいいのか、いろいろ調べました。**西島** まさに手探りで努力をされたんですね。

**沢木** 鵜のヒナは羽毛もなく、首も座らず目も見えない状態で生まれてきます。そのヒナに小さな注射器で、ペースト状にした魚を最初の頃は数グラムずつ、2〜3時間おきに与えます。すると1週間ほどで目が見えるようになります。鳥は、初めて見た動くものを親だと認識する習性があるので、私たちを親だと思って育っていきました。

**西島** 親だと認識しているのは、どういふところでわかるのですか？

**沢木** こちらの顔を見て、一生懸命、餌をねだります。よちよち歩きができるようになると、必死で近寄ろうとします。……もしかししたら、この

**西島** その後、プロジェクトはどのように進んでいったのですか？

## 「放ち鵜飼」プロジェクトの始動 苦勞の連続

状態で育った鵜なら、「放ち鵜飼」ができるんじゃない？と。この鵜たちならできるかもしれない！ 宇治市の協力のもと、観光協会の事業とし



(写真提供・沢木さん)

て「放ち鵜飼プロジェクト」がスタートしたのです。人工ふ化で生まれた鵜は、公募で「ウツティー」と名付けられました。

**沢木** 数年間は、とにかく人工ふ化で育つ鵜の数を増やそうと、翌年から、どんな条件

があれば巣をつくり卵を産むのか、意図的に鵜のカップル化を促し、産卵数を増やしました。卵はデリケートで0・1度単位の温度・湿度の管理が必要でした。当初は有精卵でもふ化率は約2割。なんと



かふ化率が上がっても、今度は産まれたヒナがすぐに死んでしまう。生後10日目までの死亡率が高く、この間の飼育技術を身につけました。地元獣医師との連携を密にして、そういうことを数年間繰り返して、今年も1羽が育って、いまでは12羽の元気なウツティイがいます。

**西島** 12羽ですか。立派なチームですね。

**沢木** そして数年前から「放ち鵜飼」実施に向けた、鵜たちのトレーニングをはじめました。いっぽう「放ち鵜飼プロジェクト」のクラウドファンディングにも取り組み、昨

年度は観光庁の「磨き上げ事業」の補助金で実証実験をおこなない、いよいよ2022年

秋、宇治の観光事業としてスタートしたのです。本来、鵜

飼は川ですのですが、川は気象条件に左右されやすいため「宇治放ち鵜飼」は太閤堤

跡の池を実施場所に決定しました。観光コースルートにある便利な場所です。人工ふ化

のウツティイが生まれてから、7年がかかりました。

**西島** すると一番ベテランのウツティイは7歳になっていくのですか？

**沢木** 最初に生まれたウツティイは、その間、夏の鵜飼

の鵜としても活躍し、そしてなんと卵を産み、お母さんになりました。人工ふ化二世の

子どもたちと、目下、二世代で「放ち鵜飼」に取り組んでいます。

**西島** 世代継承に成功して、次の世代につないでいけるのですね。素晴らしいですね。

## 鵜匠と鵜のかけひき

**西島** 「鵜飼」と、「放ち鵜飼」では鵜とのかかわり方はどんなところが違いますか。

**沢木** 鵜飼の場合、鵜の首の付け根のところを首結いでくくり、その紐の先端を鵜匠が

持つて、鵜が魚を獲った瞬間や喉の膨らみ具合を見て、手

繰り寄せ、鵜を船に上げて魚を吐き出させます。鵜の喉は伸び縮みし、中ぐらいの魚な

ら5、6匹、喉に溜められます。宇治川の鵜飼は通常、鵜

匠が6羽をあやつります。右利きの鵜匠なら左手で6本の

綱を持ち、川の流れも計算しながら手繰り寄せます。

**西島** 綱を引くと、鵜は素直に戻って来るものですか？

**沢木** いえ、なかなかです。夏の3か月、その日、出勤する鵜たちを鵜籠に入れて船ま

で移動しますが、鵜も賢くて、籠に入れられると「あ、今日は鵜飼に出るのだな」とわかるのです。鵜飼の日は鵜飼が終わってから餌をあげるの、「あとで魚がもらえるから鵜飼の間は適当にさぼっておこう」みたいな鵜がいるのです。魚を獲らないで、鵜匠から見えないうしろのほうに隠れたりします。一羽一羽を

しっかり見て誘導し、獲ったと思ったら必ずすぐに手繰り寄せる必要があります。

たいなことはしますか？

**沢木** しますね。集団の狩りは野生の本能でしょうね。リーダー的な鵜が遠くへ行く

と全員がついて行ったり、1羽が水に潜ると、それを合図にみんなが潜ることもありま

す。魚を追いかけるのが楽しくなって、呼んでも誰も船に戻って来ないときも、リー

ダーの1羽が鵜匠の元に戻る

と、それに倣って、みんなが

ダーッと戻って来たりしま

## 鵜匠との信頼関係が重要

**沢木** 「放ち鵜飼」は、鵜飼

に比べると人との距離は近いですが、呼ぶだけで船に戻る

のはさすがに難しく、魚、餌によるトレーニングが必要で

す。綱はなく、首の根元に首結いの代わりになる輪っかをつけて魚を飲み込めないように

グの段階では鵜飼と同じように綱をつけ、魚を獲って鵜匠

の元に戻ってきたら、綱を緩めて魚がお腹に入るようにし

てあげる。それを繰り返すと、船に戻ったら、魚が食べられるのだ、と覚えます。

**西島** なんだか子育てに共通していますね。集団プレーミ



太閤堤跡の「放ち鶺鴒」（写真提供・沢木さん）

す。鶺鴒とリーダーの信頼関係が大切ですね。

**西島** 鶺鴒とリーダーの信頼関係、リーダーとそのほかの鶺鴒との信頼関係が大切なので

すね。ところで、ウツティータちは、みんなウツティータと呼ばれるようですが、個体の識別が必要な時はどう呼んでいるのですか？

**沢木** 実は1号、2号とか、私たちだけの独特の識別の呼び方があります。でも「放ち鶺鴒」を見に来られたお客様にも、見分けがついたほうが楽しいでしょうし、背中に赤、黄、緑とかの色ラベルをつけ、色分けした12羽の「ウツティータ相関図」をつくりました。それぞれのウツティータの性格（やんちゃ、ビビリ）や、関係性（親子、兄弟、片思い、勝手にライバル視、など）が書いてあります。自分のお気に入り、応援したい鶺鴒を、「推しウツティータ」として楽しんでもらえれば、と思っています。

### プロフィール 沢木万理子（さわき・まりこ）

宇治川の鶺鴒・鶺鴒匠。鶺鴒歴：21年目。平成6年嵯峨美術短期大学を卒業。動物と係わる仕事にあこがれ平成14年より宇治川で鶺鴒見習いとなる。全国で3人目の女性鶺鴒匠として活躍。平成16年より（公社）宇治市観光協会に所属。女性ならではのしなやかな網さばきと華麗な技で宇治川の鶺鴒に訪れる人々を魅了している。平成20年「京都府あけぼの賞」を受賞。平成26年全国初ウミウの人口ふ化・人工育雛を手がけ、現在12羽のウミウが育っている。



また、国内で途絶えた追い綱（鶺鴒の際に鶺鴒と鶺鴒を繋ぐ綱）を使用しない「放ち鶺鴒」の復活を目指し、放ち鶺鴒プロジェクトを立ち上げる。人工ふ化で誕生したウミウの訓練を続け、2018年にはクラウドファンディングによる資金調達を行った。ヒナの飼育に尽力し、全国でも数少ない女性鶺鴒匠達の活躍は、多くのメディアで紹介され、宇治川の鶺鴒は、京都・宇治の観光振興と地域の活性化に新たな光を当てている。伝統文化の継承とともに、未来に向けた新たな可能性に期待が高まっている。

- 平成6年 嵯峨美術短期大学卒業
- 平成14年 鶺鴒見習いとして始める
- 平成15年 (社)宇治市観光協会嘱託職員採用
- 平成16年 (社)宇治市観光協会職員採用
- 平成20年 京都府あけぼの賞受賞
- 平成29年 (一社)日本民俗学会 論文発表
- 平成30年 生き物文化誌学会 論文発表。京都創造者賞受賞
- 令和2年 生き物文化誌学会 論文発表。現在に至る

## 「宇治川の鶺鴒」（夏・夜） 「宇治の放ち鶺鴒」（春秋・昼）として

**西島** 今後の事業の展望はどのようにお考えですか？

**沢木** 「宇治川の鶺鴒」は夏の夜の風物詩として定着しています。これは今後も継続していきます。今年からはじめて「宇治放ち鶺鴒」は、昼間の鶺鴒として、今後は春と秋に開催していく予定です。昼間の鶺鴒なので家族連れや小さいお子さんにも来てもらい

やすいですし、また夜はどうしても鶺鴒のシルエットしか見えないのですが、昼間は鶺鴒が

水の中に潜って魚を獲る姿が見えますので、違った楽しみ方があるかと思っています。「放

ち鶺鴒」が今後、宇治の新しい観光コンテンツのひとつとして定着していくことを願っています。

**西島** 事業的にも、とてもバランスよく考えられていますね。

して購入してくれて、もらったあの時期、生協さんにはずいぶんお世話になった印象があります。これからも消費者に安心と安全を届けてもらえたら、と期待しています。

**西島** これからもよろしくお願いたします。本日は貴重なお話をありがとうございました。

## 生協について——共同購入の思い出

最後に、生協について、何かご存じのこと、お感じのことなどはありますか？

**西島** 最後に、生協について、何かご存じのこと、お感じのことなどはありますか？

**沢木** 私は子どもの頃、アトピーがひどく、特に中学生の頃は食事制限がありました。

そんなときにいつも母が共同購入で生協さんから安心して食べられる物をいろいろ工夫

ありがとうございました。

京都府総合防災訓練

2022年9月4日(日)、精華町立東光小学校グラウンドを主会場に開催されました。直下型地震並びに近年の集中豪雨等による水害の複合災害を想定して訓練をおこなうことで、府民の防災意識の高揚を図り、被害の減少につなげる事が目的。

京都府生協連は、京都府との間で締結している「災害時における応急対策物資供給等に関する協定書(1997年締結)」にもとづき、JA京都グループとともに、物資の輸送・配布訓練に参加しました。



救護物資を輸送



救護物資を参加者に渡しました

訓練では、地震発生を受けて、京都生協山城支部で、高取淳専務理事を本部長に災害対策本部を立ち上げ、京都府から要請のあった救護物資などの資材を配送トラックに積み込み、訓練会場にむかいました。

生協から役員員9人、JAグループから6人がボランティアとして参加しました。



JA京都グループと協力して荷下ろし

2022年度は、常温でも長期保存が可能で、災害時に重宝される、日本生協連のロングライフ牛乳「CO・OP霧島のおいしい牛乳200ml」も配布しました。



京都府・西脇隆俊知事(中央)を囲んで

MCA無線(防災無線)訓練を実施

令和4年度関西広域応援訓練 実動訓練(ワークショップ)

2022年8月19日(金)と11月15日(火)に、震度6強の地震が発生したものと想定して、日本生協連関西地連(大阪)と京都府生協連と会員生協間(京都生協)との間で実施しました。

発災時に非常用通信機器として設置しているMCA無線が正常に稼働できるか(送受信の電波状態・機器の不具合など)について検証しました。

コープ御所南ビルで防災訓練

2022年9月15日(木)、午前7時45分より、コープ御所南ビルに入っているテナント、京都生協、くらしと協同の研究所、京都府生協連ら17人が訓練に参加しました。

コープ御所南ビルで火災が発生したという想定で、避難方法の確認と消火器訓練をおこないました。

2022年10月20日(木)、ワークショップ及び実動訓練を通じて「緊急物資円滑供給システム」及び「0次物資拠点運用マニュアル」による物資の広域調整・輸送に関する理解を深め、基幹的物資拠点(0次物資拠点)の開設から運営までの対応手順の確認や物流事業者の専門知識やノウハウを習得することで、災害対処力向上と関係機関の連携強化を図ることを目的に開催されました。

当日は、南海トラフ地震により和歌山県、徳島県を中心に関西圏域に被害が発生したとの想定のもと、徳島県の1次物資拠点が使用不能となり、0次拠点を兵庫県に設置。国のプッシュ型支援や応援府県市、物資供給協議会民間事業者等から物資を受領し、搬出する訓練が実施されました。

京都府生協連から、九鬼隆一事務局長がワークショップに参加しました。

2022年度京都消費者問題セミナー  
「その誘い だいたいようぶ？」  
「18歳、19歳が狙われる！1人で悩まず相談しよう」  
開催

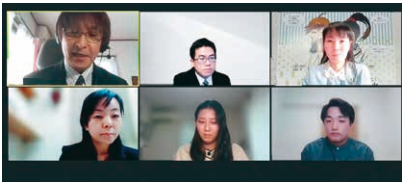
2022年12月3日(土)、オンラインで開催し、約70人が参加しました。

消費者被害の事例と対策について広く啓発し、適格消費者団体の認知をはかることを目的に毎年開催しており、今年も15回目。京都府くらしの安心・安全月間事業として実施。主催は、京都府、NPO法人コンシューマーズ京都、適格消費者団体NPO法人京都消費者契約ネットワーク(KCCN)、適格消費者団体特定適格消費者団体NPO法人消費者支援機構関西(KCCs)、京都生協、京都府生協連で、京都市の後援事業。

成年年齢が18歳に引き下げられ、消費者被害トラブルにどう対処すればいいのか等について考え合うことを目的に開催しました。はじめに京都産業大学法学部・坂東俊矢教授(弁護士・KCCs常任理事)より話題提供があり、京都府消費生活安全センター・森順美指定消費生活相談員より相談現場からの報告、KCCs・

小林紀久子事務局長より活動紹介がありました。

つづいて、坂東俊矢教授をファシリテーターに、パネリストとして、立命館宇治高等学校家庭科・川口綾教諭、KCCN事務局長・増田朋記弁護士、森順美指定消費生活相談員、京都産業大学法学部4年生・布施杏奈氏、同・清水健生氏が登壇し、現在の状況と問題点などについて、パネルディスカッション。一人でも悩まず相談することで、被害防止や啓発、社会をかえることにもつながる。社会全体で考えていく課題であるということを学びました。



パネルディスカッションがおこなわれました

京都の生協 理事長懇談会



京都橘大学・岡田知弘教授

2022年9月6日(火)、コープ御所南ビル会議室で開催しました。高取淳専務理事が司会進行し、西島秀向会長が理事が開会のあいさつをのべました。生協を巡る話題・課題について学び、今後の事業や活動、運営に活かすことを目的に開催しました。

京都橘大学経済学部・岡田知弘教授(京都大学名誉教授、京都橘学園生協理事)から「世界と日本の経済状況から、私たちの今後の暮らしを考える」新たな地域経済社会への展望」をテーマに講演をいただきました。

各会員生協から2022年度の活動概要や課題について報告があり、意見交流をおこないました。10会員生協から理事長・専務理事・常務理事など14人が出席しました。

京都の生協活動功労者表彰式 3年ぶりに実開催

2022年11月1日(火)、レストラン「おおたや」で京都府生協連の表彰制度にもとづき、開催しました。表彰の対象となった方は、2021年8月1日から2022年7月31日までの間に退任した役員のうち、①役員在任期間が2期以上または2年以上あった方②特別に功労があったと認められる方、です。

2022年は各会員生協から3人が推薦され、表彰されました。

日本政府に核兵器禁止条約への署名・批准を求める署名街頭宣伝

2022年10月29日(土)、四条河原町で街頭宣伝署名をおこない、43筆の署名が集まりました。



海外からの観光客も署名に協力

憲法学習会「檻の中のライオン」憲法ってなんだろう?



人形を使ってわかりやすく講演されました

2022年11月30日(水)、京都テルサ東館2階会議室とオンラインで開催し、135人が参加しました。

京都生協、NPO法人コンシューマーズ京都、京都府生協連が共催しました。

講師の、ひろしま市民法律事務所・榎大樹弁護士より、「ライオン」国家権力、「檻」憲法」と見立て、憲法の条文を紹介しながら、どのように憲法を読み解けばいいのかについて、わかりやすくお話がありました。

参加者からは「憲法の大切さを知る、良い機会をありがとうございました。ありがとうございました。未来をつくるのは、私たちなんだと改めて感じた時間となりました。『知る、考える、行動』についていいたいと思います」「堅苦しい憲法講演と違ってとてもおもしろく、わかりやすかったです。是非、孫に聞かせたいと思った」などの感想がありました。



## 2022年度

## 理事・監事研修会

京都府生協連では、毎年、主に新しく理事や監事になられた方を対象に開催しています。今年も、生協法の知識や監事の権限と職務、基礎的な知識について学ぶことを目的に、オンラインで開催しました。

第1回は、2022年7月26日(火)、「生協における役員の仕事と責任」をテーマに、日本生協連法務部・太田史子氏が講師に開催し、役員28人が参加しました。

研修の冒頭、京都府民環境部消費生活安全センター・小林充典調査・指導係主査より、生協検査における特徴的な指摘事項等についてご報告をいただきました。

第2回は、2022年9月20日(火)、「監事監査の基本と実務のポイント」をテーマに、日本生協連渉外広報本部分務部・井藤康治氏を講師に開催し、役員23人が参加しました。

第3回は、「経営分析の基礎」をテーマに、2022年10月18日(火)、日本生協連管理本部経理部・土屋里奈氏を講師に開催し、役員25人が参加しました。

## 第33回近畿地区

## 生協・行政合同会議

2022年8月24日(水)、福井県民生協本部センター会議室よりオンラインで開催し、48人が参加しました。主催は近畿地区生協府県連協議会。テーマは、「つながる力で安心してくらし続けられる地域社会づくりをめざして」。

はじめに、兵庫県生協連(近畿地区生協府県連協議会代表)・岩山利久会長理事、開催地行政から福井県安全環境部・野路博之部長が開催にあつたのあいさつをのべました。

厚生労働省社会・援護局消費生活協同組合業務室・井上宏室長よりあいさつと報告、日本生協連渉外部・毎田伸一郎長より、「持続可能な社会の実現をめざした全国生協の社会的取り組み」について報告がありました。

特定非営利活動法人全国子ども食堂支援センター・むすびえの渋谷雅人理事より、「ひとりの明日を変えることも食堂」アンケートから見える運営現場の現状」と題して、特別講演がありました。子ども食堂の意義とアンケートから見えた現在の生の姿について、また日本社会がもつてい

る「つながる力」の素晴らしさについてお話がありました。

活動事例として「福井県の消費者教育の取り組み」福井県安全環境部県民安全課・前川昭彦課長、「地域の拠点・ならこい」コープ下市ステーションの取り組み」コープ生活支援・組織広報担当・奥西武史執行役員、「大学生協のコロナ禍におけるさまざまなつながりの取り組み」大学生協事業連合関西地区・野尻郁智常務理事、「消費者支援機構関西の活動報告」NPO法人消費者支援機構関西(KCS)・小林紀久子事務局長より報告がありました。

## 2022

## 産直フォーラム鳥取

2022年11月5日(土)、6日(日)、鳥取市ホテルモナーク鳥取を主会場として開催されました。

参加人数は51人。主催は、COOP牛乳産直交流協会(※)。テーマは「産直の歴史を知り、新たな産直活動」産直の歴史を知り、今後産直をどのようにしていくか。

基調講演は「産直の歴史」をテーマに、大山乳業農協・中原正元組合長より報告があり、つぎに「産地鳥取からの現状」

を、大山乳業農協・平野浩専務理事と鳥取県畜産農協・中村兼三理事より報告がありました。つづいて、グループに分かれて、今後の産直の取組みについて、分散討議をおこないました。二日目は、美敷牧場牛舎を視察し、美敷研修館で産直の歴史を学びました。

※COOP牛乳産直交流協会  
1990年5月に設立。大山乳業農協、鳥取県畜産農協、京都生協、京都協同食品プロダクト(株)、大学生協事業連合関西地区、鳥取県生協、生協コープしが、京都府生協連の、8つの会員団体が構成されています。

京都府食の安心・安全  
意見交換会

2022年10月6日(木)、京都府農林水産技術センター畜産センターでオンラインとの併用で開催されました。

京都府農林水産部農林水産技術センター畜産センター・佐々木敬之業務部長の説明を受けながら、畜産センターの施設見学のと、「京都府における畜産物の安心・安全に係る取り組み」などについて報告があり、意見交換しました。

京都府生協連のほか、NPO法人コンシューマーズ京都、NPO法人京都消費生活有資格者の会、京都府連合婦人会から9人が参加しました。

## 「DV被害者支援の現状と課題」シンポジウム 後援

2022年10月1日(土)、オンラインで開催され、85人が参加しました。主催はきょうとNPOセンター。共催は近畿労働金庫。後援は京都府生協連など。

DV被害者支援の現状を知り、DV被害者にとって安心して生活できる居場所づくりに関する多様な支援のあり方を検証することを目的に開催されました。

## 「京都府南部地域豪雨災害からの10年」その当時を振り返って」シンポジウム 後援

2022年10月16日(日)、宇治市産業振興センターとオンラインとの併用で開催され、73人が参加しました。主催は災害時連携NPO等ネットワーク。共催は近畿労働金庫。後援は京都府生協連など。

2012年8月13日、14日に起きた京都府南部地域豪雨災害について、当時の状況を振り返り、被害に対する備えや発生時における対策の知識の普及と啓発、記憶の継承をめざすことを目的に開催されました。

# に発展させる協議会」(略称：KSK)

のあらたな価値の発見・創造の場として～

第42回

## テーマ 『学生のみち』 京都を生協はどうやって支えられるか？

～アフターコロナの学生のみち京都を盛り上げていくには～

今回は、アフターコロナと  
言われる今、学生たちの現状  
を知り、わたしたち大人に求  
められる事について考えあう  
ことを目的に開催しました。

京都大学学生総合支援機構  
学生相談部門・中川純子氏よ  
り「コロナ禍の中の学生達」  
学生相談から見える心身の状  
況」について、講演がありま  
した。「喪失」と思うのは、  
上の世代の視点であり、今の  
学生は「今」に適應している



京都大学・中川純子氏

2022年10月15日(土)、  
京都テルサ西館3階第2会議  
室とオンラインで開催し、役  
職員31人が参加しました。西  
島秀向会長理事が、開会のあ  
いさつをおこない、國見伸行  
副会長理事がコーディネータ  
ーをつとめました。

実態について、報告い  
ただきました。

つぎに「下宿生でも  
投票できますプロジェクト」  
について、をテー  
マに、立命館大学法学  
部4回生・松尾遼太郎  
さん、同・産業社会学  
部4回生満壽居春希さ  
んより報告があり、「コ  
ロナとの学生生活につ  
いて」をテーマに龍谷  
大学経営学部2回生・  
松井翔輝さんより報告。  
「全国大学生協連・  
関西北陸ブロック学生  
事務局の取組みにつ  
いて」関西北陸ブロッ  
ク学生事務局(龍谷大  
学4回生)・大前真悠さ  
んより報告があり、そ  
の後に全体交流をし  
ました。

最後に全体を通して  
龍谷大学政策学部・只  
友景士教授より「学生  
たちがさまざまな制限  
に適應していることに  
対して、敬意を払うこ  
とが一番の学びであっ  
た。今後、学校関係者、



龍谷大学・只友景士教授

学生たちと一緒にどのような  
キャンパスを作っていくの  
か、また学生たちのたくま  
しさについて評価をし、一緒  
に社会を作っていくことが大  
切である」とコメントがあり  
ました。

参加者からは、「中川先生  
の話から、学生たちの現状へ  
の対応、適応をポジティブ  
に評価してあげることが学  
んだ。学生のリアルな声を聞  
くことで、生協のやるべきこ  
とを考え直すきっかけとして  
よかった」「コロナ禍の中  
でも、学生の方々の柔軟な適  
応力が素晴らしいと思いま  
した。コロナ禍の中、環境に  
合わせてさまざまな取り組み  
をされていて素晴らしいと思  
います」などの感想が寄せら  
れました。

第43回

# 京都府生協連「京都の生協活動を豊か ～組織と事業のイノベーションによる協同組合

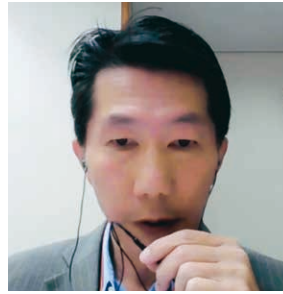
テーマ

## ～ 2022年度上半期の事業活動や組合員活動についての交流～



生協コープ自然派京都・  
杉原康子理事

年度初めの第41回KSKで、  
会員生協よりコロナ禍の中、「新しい生活様式」を見すえた2022年度の活動方針や重点課題の報告と交流を開催しました。約半年が経過し、取り組み状況等、実践報告を受け、その内容を共有し、生協どうしの連携につながる機会にさせていただくことを目的に、開催しました。



京都生協機関組織運営系統・  
富田晋悟統括マネジャー

2022年11月15日(火)、オンラインで開催し、役員23人が参加しました。西島秀向会長理事が、開会のあいさつをおこない、九鬼隆一事務局長がコーディネーターをつとめました。

京都府庁生協・本多浩理事長、  
共済生協から全京都勤労者共済生協・蛭田美幸専務理事、  
大学生協から立命館生協・風折昌樹専務理事、同志社生協・堂免裕子専務理事より取り組み状況等の報告があり、全体交流しました。

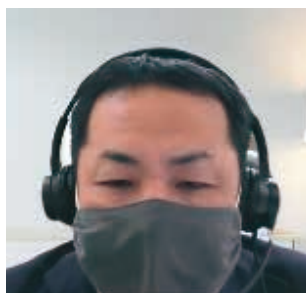


京都府庁生協・  
本多浩理事長

20ある会員生協の中から、7会員生協が報告しました。  
地域生協から京都生協機関組織運営系統・富田晋悟統括マネジャー、生協コープ自然派京都・杉原康子理事、医療生協から乙訓医療生協・上西良太専務理事、職域生協から



乙訓医療生協・  
上西良太専務理事



立命館生協・  
風折昌樹専務理事



同志社生協・  
堂免裕子専務理事



全京都勤労者共済生協・  
蛭田美幸専務理事

参加者からは、「各生協の状況と抱えている課題、ありたい姿を聞くことができ、大変勉強になりました。現状をとらえて、今何が必要かを考え、常に事業を進化させていく必要があることを改めて感じました」などの感想が寄せられました。



京都府からの備蓄水を受け取る学生

**京都府の災害用備蓄食品の有効活用の取組み**  
京都府の災害用備蓄食品の入れ替えにともない、役割を終えた食品を、長引く新型コロナウイルス感染症拡大の影響により疲弊する大学生に届けました。(京都府と京都府生協連は1997年4月に「災害時における応急対策物資供給等に関する協定書」を交わし、連携をしています)。  
2022年9月1日(木)、「防災の日」に、災害用備蓄水8,000本を京都府災害対策課より譲り受け、大学生協に配りました。

第21回京都府協同組合役員職体験・交流学校



水揚げされた「シラ」を重量ごとに選別

2022年9月8日(木)、舞鶴にある京都府漁業協同組合(ＪＦ京都)本所を主会場に開催され、20人が参加しました。主催は京都府協同組合連絡協議会。京都府の協同組合(農協、漁協、森林組合、生協)で働く役職員の教育と育成を目的とし、連携や課題を学び、認識を深めあう機会として毎年開催しています。今回はＪＦ京都が企画を担当し、「京都の漁業を学ぶ・触れる」をテーマに開催しました。



大型冷凍庫の中は魚がぎっしり

はじめに、舞鶴地方卸売市場を見学。セリの状況や魚の入荷のようすなどを見学しました。つぎに、京都の漁業について講義があり、京都沿岸のようすや担い手の問題など、多岐にわたり学びました。午後からは、宮津市の京都府農林水産技術センター海洋センターと京都府栽培漁業セ



アワビの稚魚を見学

ンターを見学。「マダイ、アワビ、サザエの種苗生産とトリガイの中間育成について」や「資源管理型漁業」、「つくりそだてる漁業の研究」などについて学びました。

また、京都府漁業巡視艇「らくよう」に乗船することができ、見学しました。参加者からは「海洋センターの所長がお話されたように『単独では解決できないことが増えてきている。連携が必要である』



熱心に講義を聞く参加者

ということを意識し、今後も協同組合間連携をすすめていきたいと思えます」「海の資源を守り、そのことが私たち(生産者、事業者、消費者)のくらしを支えて頂いていること、大変勉強になりました」「定置網の仕組み、流通させる発砲スチロールの管理、相場を下げないために小さな魚も冷凍して養殖のえさや肥料にするなどの工夫、ブランド化をすすめる消費者の関心をひくような取り組みなど、大変勉強になりました」などの感想が寄せられました。



京都府漁業巡視艇「らくよう」

おもな行事のお知らせ

京都府生協連と各会員生協の相互連絡通信訓練  
日 時：2023年1月19日(木) 8:45～10:00

第44回京都の生協活動を豊かに発展させる協議会(KSK)  
日 時：2023年1月17日(火) 13:30～15:30(予定)

会場：コープ御所南ビル4階会議室(オンライン)  
テーマ：「サイバー攻撃への対策について」(仮題)

2022年度きょうと食の安心・安全フォーラム  
日 時：2023年2月7日(火) 14:00～15:30

会場：京都経済センター6階C会議室(オンライン)  
テーマ：「信頼で彩る京の食」

2022年度親子オンライン食育企画「地場野菜生産者との交流&親子ミニクッキング」  
日 時：2023年2月18日(土) 10:30～12:00

開催方法：オンライン

謹賀新年



旧年中はご支援・ご協力を賜り、ありがとうございます。新型コロナウイルス感染症拡大や、ロシアのウクライナ侵攻により、私たちのくらしは大きく変わりました。事態が一日も早く収束することを願うばかりです。本年もみなさまのお力をいただきながら、協同組合の役割を發揮してまいりたいと存じます。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

二〇二三年 一月一日

京都府生活協同組合連合会

会長理事 西島 秀向

CO-OP

発行：京都府生活協同組合連合会 〒604-0857 京都市中京区烏丸通一条上る時絵屋町258番地 コープ御所南ビル4階  
TEL 075 (251) 1501  
URL http://www.kyotofu-seikyoren.com E-mail kyotofu-seikyoren@mac.seikyone.jp